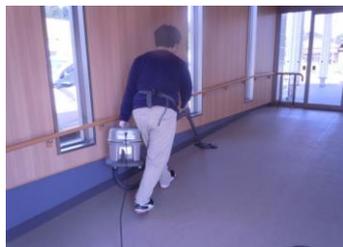


就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	障害福祉支援プラザ	事業所番号	0210101655
住所	青森市問屋町1丁目2番6号	管理者名	木立 孝志
電話番号	017-757-8271	対象年度	令和4年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>入所者居室外通路のメンテナンス 納骨堂 会館等 渡り廊下 毎日3~4名の2ユニットで行っている。</p>	<p><活動の様子></p>  <p>会館内テーブル拭き掃除</p>  <p>渡り廊下掃除機掛け</p>
<p><目的></p> <p>活動の目的：就労マナー、社会性の取得。 地域にとってのメリット：環境を整備することで入所者様や外部の方々に気持ちよく利用して頂ける。 利用者にとってのメリット：急な作業変更や、普段とは違う場所の清掃作業にも対応できる順応性が身につく。</p>	 <p>トイレ掃除</p>  <p>屋外ベンチ拭き掃除</p>
<p><成果></p> <p>実施結果：直接利用者の皆様より感謝の言葉を頂いております。 成果：利用者様の声を聞くことで励みになり、自信に繋がり一般就労に向け意欲が持てた。 課題：清掃場所が広範囲であるため、どこまで終わったのか報連相を徹底する。</p>	 <p>ドア拭き掃除</p>  <p>蜘蛛の巣取り</p>

連携先の企業等の意見または評価

清掃に対する評価は、丁寧できれいに作業していただいている印象です。
指導員と利用者さんのコミュニケーションも取れていることが、清掃結果に反映されているものと思います。
特に納骨堂はお参りに来られる外部の方もいらっしゃるのので、外観を含め周囲の清掃には高い評価をしています。
また、指示した事項についてはすぐに対応していただいています。
今後とも当園の環境整備にご協力をお願いします。

連携先企業名	国立療養所松丘保養園	担当者名	庶務班長 高橋
--------	------------	------	---------

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	障害福祉支援プラザ	事業所番号	0210101655
住 所	青森市問屋町1丁目2番6号	管理者名	木立 孝志
電話番号	017-757-8271	対象年度	令和4年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>東洋社リネン工場にて タオルたたみ作業 結束機でのタオル結束 台車運搬</p>	<p><活動の様子></p> 
<p><目的></p> <p>活動の目的：就労マナー、社会性の取得。 地域にとってのメリット：企業の人員不足の解消。 利用者にとってのメリット：達成感を味わうことで就労への意識が高まる。</p>	
<p><成果></p> <p>実施結果：長期間に渡る取り組みにより、企業様との信頼関係を築くことができた。 成果：作業のスキルアップができた。チーム作業のため協調性が身についた。 課題：大勢の人の中での作業のため、障がいの特性によっては出来ない方も多く、固定化している。</p>	<p>を め 異 使 ら な 用 れ る し た タ 結 枚 オ 束 数 ル す に 等 る 。 機 を 決</p> 

連携先の企業等の意見または評価

<p>利用者の作業の取り組み</p> <p>指導員からの指示のもと、落ち着いて作業が出来ています。 作業態度も良く、真面目です。各々レベルの違いはありますが、作業も上達しています。</p>			
<p>指導員の対応</p> <p>初めのころは戸惑いもあったかと思いますが、利用者の能力に合わせた指導や、指示が的確に行われているように感じます。弊社従業員の作業も良く見ていて、効率の良い作業の仕方を工夫している様子が見られます。 今では、利用者の皆さんもリネン工場にとって貴重な存在となっています。 指導員の方々の努力の成果だと思えます。</p>			
連携先企業名	株式会社 東洋社	担当者名	リネンサプライ工場 石沢

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	障害福祉支援プラザ
住 所	青森市問屋町1丁目2番6号
電話番号	017-757-8271

事業所番号	0210101655
管理者名	木立 孝志
対象年度	令和4年度

(Ⅰ) 労働時間		40 点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(Ⅱ) 生産活動		40 点
①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上		
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上		
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
①40点 ②25点 ③20点 ④5点		

(Ⅲ) 多様な働き方（※）		25 点
◎ ①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎ ⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○	
◎ ⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている		
就業規則等で定めており、前年度の実績がある	○	
小計（注1）		7
①25点 ②20点 ③15点 ④10点 ⑤5点		

（※）任意の5項目を選択すること （注1）8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(Ⅳ) 支援力向上（※）		35 点
◎ ①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上半数未満であった		
参加した職員が半数以上であった	○	
◎ ②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回の場合		
2回以上の場合		
◎ ③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている		
いずれの取組も行っている	○	
◎ ④販路拡大の商談会等への参加		
1回の場合		
2回以上の場合	○	
◎ ⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）		8
①15点 ②10点 ③5点 ④10点 ⑤5点 ⑥10点 ⑦10点 ⑧10点		

（※）任意の5項目を選択すること （注2）8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(Ⅴ) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	
1事例以上ある場合:10点		

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	40
生産活動	5点	20点	25点	40点					40
多様な働き方	0点	15点	25点	35点					25
支援力向上	0点	15点	25点	35点					35
地域連携活動	0点	10点							10

合計	
150	点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和3年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	15,845	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	3,859	人	利用者の1日の平均労働時間数	4.1	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	-----	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（前年4月～当年3月）

前々年度（令和2年度）

生産活動収入から経費を除いた額	11,118,843	円	利用者に支払った賃金総額	11,115,300	円	収支	3,543	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-------	---

前年度（令和3年度）

生産活動収入から経費を除いた額	14,039,352	円	利用者に支払った賃金総額	13,696,964	円	収支	342,388	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和3年度）における実績（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

①免許・資格取得、検定の受検勸奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勸奨に関する制度を活用した人数 名

※取得を進めた免許等：

制度の活用内容：

②利用者を職員として登用する制度

◎職員として登用した人数 名

◎うち1名は雇用継続期間が6月に達している

◎うち1名は前年度末日まで雇用継続している

※登用した日 年 月 日

勤務形態：

就業時間： 時 分～ 時 分

職務内容：

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

◎在宅勤務を行った人数 名

※実施した期間： 月 日～ 月 日

就業時間（在宅勤務）： 時 分～ 時 分

職務内容：

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制を活用した人数 名

※実施した期間： 月 日～ 月 日

就業時間（コアタイム）： 時 分～ 時 分

職務内容：

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に従事した人数 名

※実施した期間： 月 日～ 月 日

就業時間（短時間）： 時 分～ 時 分

職務内容：

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度を活用した人数 名

※実施した期間： 月 日～ 月 日

就業時間（早出の場合）： 時 分～ 時 分

就業時間（遅出の場合）： 時 分～ 時 分

職務内容：

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎時間単位取得を活用した人数 名

◎計画的付与制度を活用した人数 15 名

※取得した制度 有給休暇の時間単位取得

計画的付与制度

取得した期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

取得日数・時間 5日 22.5時間

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等を取得した人数 1 名

※取得した内容： 長期休暇

取得した期間：令和4年2月1日～令和4年3月31日

就業時間： 9時00分～14時30分

職務内容： 施設外清掃等

(※)当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（令和3年度）における実績（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している

◎研修実施回数 外部 5回／内部 9回

対象職員数 8 人

うち研修受講者数 8 人

※研修名 令和3年度就業支援基礎研修

研修講師 職業センター職員

実施日・受講者数 令和4年6月22日 1 人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において発表している回数 回

※研修、学会等名

実施日 月 日

※学会誌等名

掲載日 月 日

発表テーマ

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施している

◎他の事業所の視察・実習を受け入れている

※先進的事業者名 就労継続支援きらめき

実施日/参加者数 令和4年2月17日 2 人

※他の事業所名 wing株式会社

実施日/参加者数 令和4年1月19日 1 人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会等への参加回数 4 回

※商談会等名 新商品 PR会

主催者名 酸ヶ湯温泉様・雑貨の散歩道様

日時 令和3年9月30日・令和4年2月9日

令和4年1月9日・令和4年3月25日

内容 新商品の提案・新商品撮影会等

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している

◎当該人事評価制度を周知している

人事評価制度の制定日 3 年 4 月 1 日

人事評価制度の対象職員数 10 名

うち昇給・昇格を行った者 10 名

当該人事評価制度の周知方法 就労事業部職員定例会議にて周知

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している

◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している

※配置期間 月 日～ 月 日

就業時間

職務内容

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている

※評価を受けた日 月 日

第三者評価機関

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎国際標準化規格が制定したマネジメント規格等の認証等を受けている

※認証を受けた日 月 日

規格等の内容

(※)実績のうち1事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。
必要に応じて行を増やす等、